

発達障害とは？

発達障害は、生まれつきの脳機能障害によって起こる発達の偏りとされています。精神障害と同じく、日常生活や社会生活において様々な困難があります。また、発達障害は障害の程度・年齢・環境によって症状に個人差が大きく、1人1人に合わせた支援が大切です。本人だけでなく周囲も発達障害の特性を理解することで、多くの困難を解消することもできます。



一般的な特徴 character

- 得意なことと不得意なことの差が大きい
- ぱっと見てわかりにくい

※全ての発達障害者に当てはまるわけではありません。

必要な配慮 concern

具体的に伝える

指示・注意は「あれ・ちゃんと」等の曖昧な言葉を避け、具体的な物の名前や改善点を伝えると、理解しやすくなります。

仕事を整理する

業務に優先順位をつけると良いでしょう。写真を使って視覚化された、作業指示書やマニュアルも有効です。

成功体験を積ませる

失敗を繰り返すと自信を失い二次障害(うつ等)の原因にもなります。成功体験を積ませる方が成長につながります

自閉症スペクトラム AUTISM SPECTRUM DISORDER

興味を持った分野には膨大な知識

広汎性発達障害とも呼ばれ、自閉症やアスペルガー症候群などを含んだ幅広い領域を指します。他人との関係を理解しづらく、それよりも自分の関心・やり方を優先することも多いため誤解されることもあるようです。コミュニケーションが得意な方は少ないですが、一度興味を持った分野には膨大な知識を持つこともあります。視覚的なマニュアルがあると仕事を覚えやすいでしょう。また言葉以外の意味をくみ取るのが苦手な方が多いので5W2H(いつ・どこで・誰が・何を・どのように・なぜ・いくら)を具体的に伝えましょう。

必要な配慮 concern

時間管理をする

スケジュールを組むのが得意ではないので、やるべき業務や休憩を取る時間などを固定しておくとい良いでしょう。

繰り返しの多い仕事を

臨機応変な対応よりも、繰り返の中からルールやパターンを認識する能力が高く、流れ作業の方が向いています。

指示を文書や図にする

会話の文脈をつかんだり、行間や空気を读むのが苦手な人が多いので、言葉だけよりも文章や図、写真などで伝えるほうが効果的です。

1つずつ作業を頼む

同時に複数の案件をこなすことが苦手です。前もって順序を決めてから依頼すれば業務が円滑に進みます。

含みのある表現をしない

言葉の意味をそのまま受け取るため、冗談や皮肉などに混乱する場合があります。含みのある表現は避けましょう。

学習障害 LEARNING DISORDER

本人の苦手な事柄に併せた配慮

一般的には、全般的な知的発達の遅れがないにも関わらず、文字や文章を読むこと、書くこと、計算することなど特定の事柄、もしくは複数の事柄に困難さが現れる場合を言います。本人の苦手な特定の事柄に合わせた対応が必要です。

必要な配慮 concern

苦手な事柄を避ける

指示する担当者を定める

1つずつ作業を頼む